

にっぽん

淫靡な昔話

本谷コ一平



昔々
とある山奥…

では
お母様

今日も行つて
参ります

お花という
可憐な少女が
おりました

すまないねえ

お花にばかり
苦勞を
かけて…

お母様!!

大丈夫!!

今日は
昨日より丈夫な
笠ができたの

お花…

笠を作つては
山のふもとの町へ
売りに行つていました

お花は病気の
母の薬を
買うため

今日こそ笠を
売つてお母様の
薬を買つてくるわ

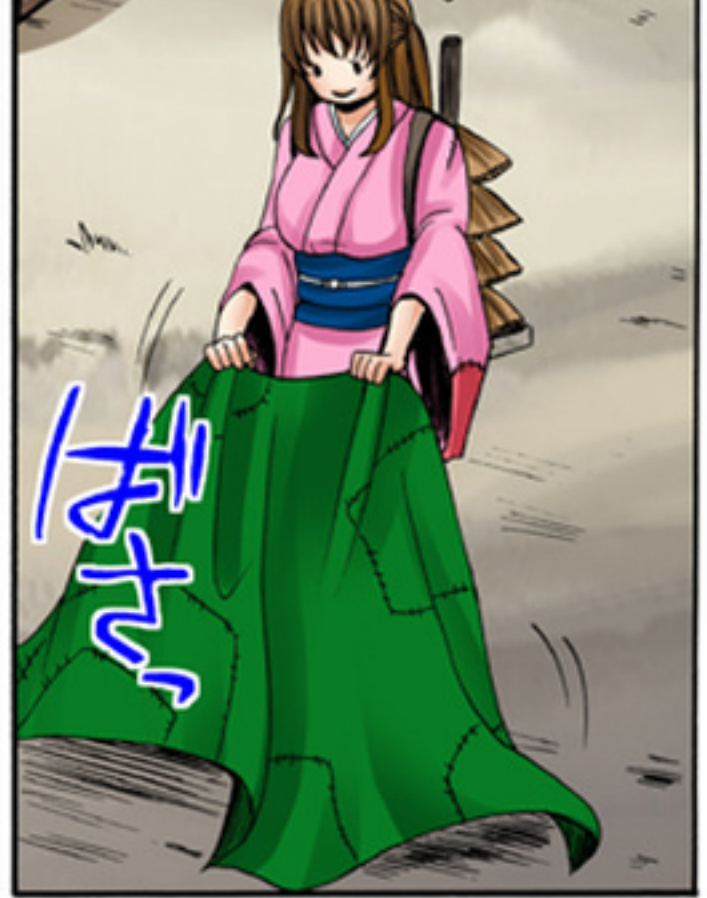
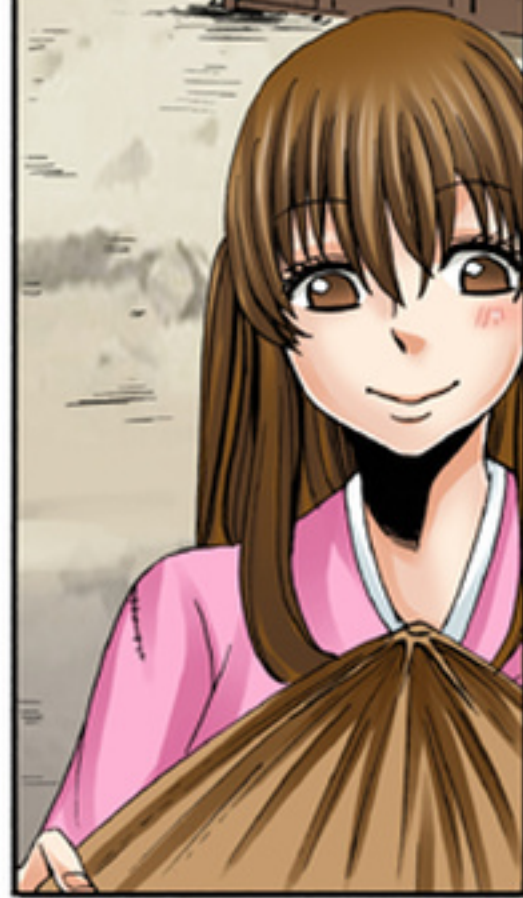


今日はこの辺で
がらばつて
売ろう!!



お花お前ら
おいが町に
来たぞ!!

ガラッ



ぼん



あゝん

ドク

でもな
金払つてやった
分は働けよ!!



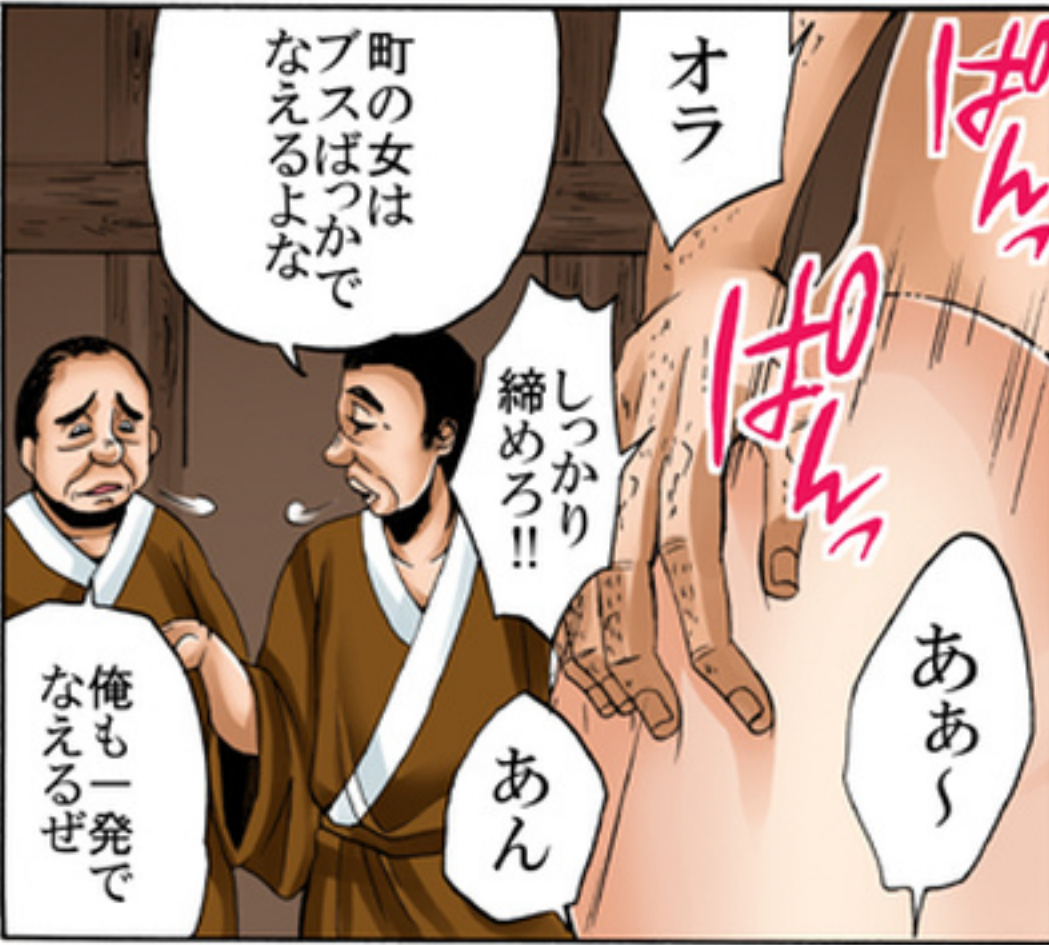
やつと
来ましたか

ブスの
相手してる
暇なくなたぞ

アヒ

あ♡

あ



町の女は
ブスばつかで
なえるよな

オラ

しつかり
締める!!

あん

俺も一発で
なえるぜ

あゝ

ぼん



このブス
のいやあ
みたりよ
体売りに
いいのよ

お花も
ボロ笠に
売らずに

あつ
あああ

たしかに!!

そうだよな!!



穴がよくても
町一番の
美人が:

ああ

この顔
じゃな



お花になら
金一両出すぜ

じゃあ、俺は
五十両

お前ら、そんな金
ねえだろ!!



じゃあかわいい
お花の顔でも

見に行くか